

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業共済加入促進補助金	開始 年度	昭和37年度
団体名	函館市内5漁業協同組合	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	漁業共済加入促進補助金交付要綱, 函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当市では、市内漁業者全体の8割が採藻漁業を営んでおり、その生産額は渡島管内における水揚げの8割を占め、基幹産業の一つとなっているが、コンブは毎年漁獲量が大きく変動し、漁獲収入が非常に不安定な状況にあることから、漁業共済への未加入地区の加入および既加入地区の契約割合の引き上げを促進するため、掛金の一部を補助することとしたものである。
目 的	(目的) 漁業共済制度への加入により、漁業者の漁業再生産の阻害の防止および漁業経営の安定に資することから、未加入地区の加入ならびに既加入地区の契約割合の引き上げを促進することを目的とする。
・ 効果	(効果) 水産資源の減少等の異常な事象、自然災害等の事故により受ける損失が補填されることで、着業資金の確保による漁業経営の安定に資する。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収	R3 (決算)	1,685 [1,685]					20,700	22,385
	R4 (決算)	1,613 [1,613]					19,263 [19,263]	20,876 [20,876]
	R5 (決算)	1,620 [1,620]					20,766 [20,766]	22,386 [22,386]
入	R6 (決算)	1,512 [1,512]					19,364 19,364	20,876 [20,876]
	R7 (予算)	2,251 [2,251]					25,356 [25,356]	27,607 [27,607]
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R3 (決算)			22,385 [22,385]				22,385 [22,385]
	R4 (決算)			20,876 [20,876]				20,876 [20,876]
	R5 (決算)			22,386 [22,386]				22,386 [22,386]
	R6 (決算)			20,876 [20,876]				20,876 [20,876]
	R7 (予算)			27,607 [27,607]				27,607 [27,607]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業共済加入促進補助金
----------------	-------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	当該事業により漁業経営の安定が図られることで、漁業活動が継続して行われ、結果として安全な水産物を求める市民の消費生活の向上に役立つ事業となっている。
2	必要性 (補助しなければならぬ事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2年生の天然コンブは1年毎に漁獲量が大きく変動し漁獲収入が不安定であることから、当該制度への加入を促進し漁業経営の安定を図る必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	近年補助率を減額し、自主自立に向けた取組を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	漁業共済は、漁業者の目的的な加入が前提となるものであるから、自己負担を減らし、加入促進を行うには補助が最適である。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業共済加入促進補助金
----------------	-------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

- 令和元年度加入率：函館市漁協86.3%、銭亀沢漁協・戸井漁協・えさん漁協・南かやべ漁協：100%
- 令和2年度加入率：函館市漁協85.9%、銭亀沢漁協・戸井漁協・えさん漁協・南かやべ漁協：100%
- 令和3年度加入率：函館市漁協80.6%、銭亀沢漁協・戸井漁協・えさん漁協・南かやべ漁協：100%
- 令和4年度加入率：函館市漁協80.6%、銭亀沢漁協・戸井漁協・えさん漁協・南かやべ漁協：100%
- 令和5年度加入率：函館市漁協80.6%、銭亀沢漁協・戸井漁協・えさん漁協・南かやべ漁協：100%

(達成状況)

当該掛金の補助により、資源の減少などの異常な事象、または自然災害等の事故により受ける損失の補填が可能となり、漁業者所得の年変動を最小限に抑え、漁家経営の安定につながっているものと考えられる。

【令和6年度】  
共済金受領実績：263,583,936円 (函館市漁協：36,538,957円、銭亀沢漁協：0円、戸井漁協：31,602,250円、えさん漁協：79,263,833円、南かやべ漁協：116,178,896円)  
市補助金額：1,511,897円 (函館市漁協：278,040円、銭亀沢漁協：92,413円、戸井漁協：355,479円、えさん漁協：339,063円、南かやべ漁協：446,902円)



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	当該掛金の補助により、資源の減少などの異常な事象、または自然災害等の事故により受ける損失の補填が可能となり、漁業者所得の年変動を最小限に抑え、漁家経営の安定につながっているものと考えられるため十分効果をあげていると判断した。

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 当該掛金の補助により、資源の減少などの異常な事象、または自然災害等の事故により受ける損失の補填が可能となり、漁業者所得の年変動を最小限に抑え、漁家経営の安定につながっているものであり、今後も漁業振興に必要な制度であることから継続したい。 (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 9 年度		令和 9 年度